

GSユアサ

天津に蓄電池新工場

グループ最大 中国の車需要見込む

GSユアサは19日、中国・天津に同社グループ最大となる自動車用鉛蓄電池の新工場を建設すると発表した。中国市場で成長が予想されるエコカー向けの高性能電池需要を見込

んだもので、既存工場 の2倍の年産能力最大 800万個の新工場へ 移転・集約する。総投 資額は約175億円。 2018年夏ごろの稼 働を予定している。 中国工場「天津杰士

電池有限公司」は19 91年「天津統一工業 有限公司」として設立 され、資本金は546 0万が、GSユアサが 80%、天津百利機械装 備集団有限公司が20% 出資している。現在の

工場は天津市经济技术 開発区黄海路にあり、 年産能力は最大400 万個。15年5月に二輪 車用電池の生産を終了 し、四輪車用電池に一 本化した。 新設する工場は同開



新工場のイメージ

発区の南港工業区港達 路で、敷地面積は18万 平方が。すでに昨年9

月に着工式を行 っており、現在 は建設を進めて いる。完成後は 既存工場の生産 を新工場に移転 ・集約し、生産 の効率化と合理 化を推進する。 売上高は現在の 約2倍を目指 す。

中国の自動車 産業は成長を続 けており、今後は排ガ ス規制強化に伴うアイ ドリングストップ車両

や低燃費車両の需要が 急拡大すると予想され ている。新工場では同 社の最新技術・最新設 備を導入し、環境対応 車両に搭載される高性 能鉛蓄電池を中心に生 産増強を行う。

同社は今期（17年3 月期）からスタートし た3力年中期経営計画 において、海外でのア イドリングストップ車 両用電池の需要拡大に 対応し、鉛蓄電池事業 のシェア拡大を目指し ている。海外売上高の

最終年度目標は15年度 比20%増の2300億 円に設定している。